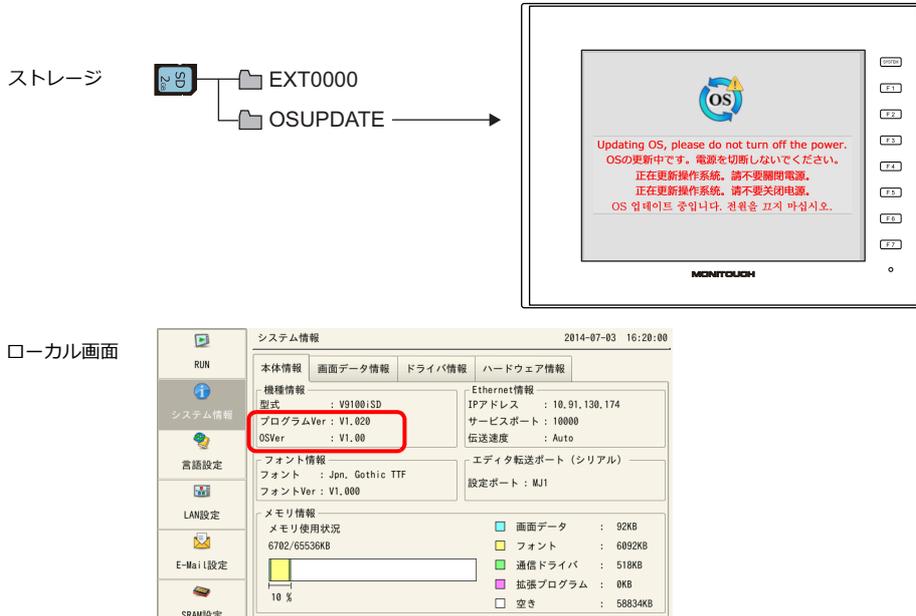


8.3.4 OSの手動アップデート

V9シリーズの本体を動かすための「OS」を手動でアップデートします。
OSバージョンは、V9のローカル画面の「システム情報」で確認できます。

 ストレージの推奨サイズについて「[8.1.2 ストレージ仕様](#)」P 8-1 参照

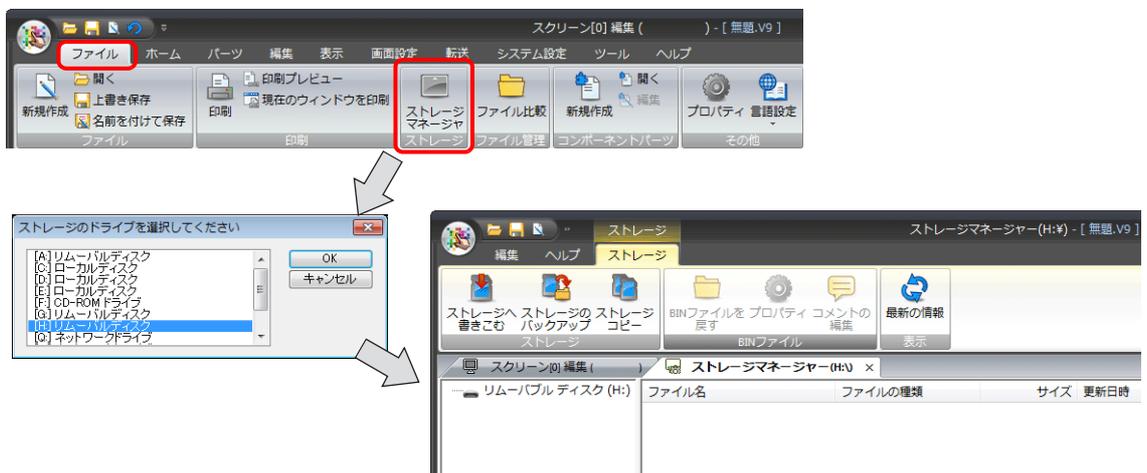


注意事項

- 万が一のトラブルに備え、OS アップデートを行う前に、画面データやその他のデータ（SRAM データなど）のバックアップを取ることをお勧めします。
- OS アップデートを行うと、自動的に本体プログラムもアップされます。
- OS アップデートは、約2分かかります。その間、絶対にV9本体の電源を切ったり、ストレージを抜かないでください。
- V9本体にSDカードとUSBメモリ両方が挿入されている場合、SDカードを優先します。
- OS アップデート用のフォルダ「OSUPDATE」はストレージ1つにつき、1つの格納です。

パソコン → ストレージ書込

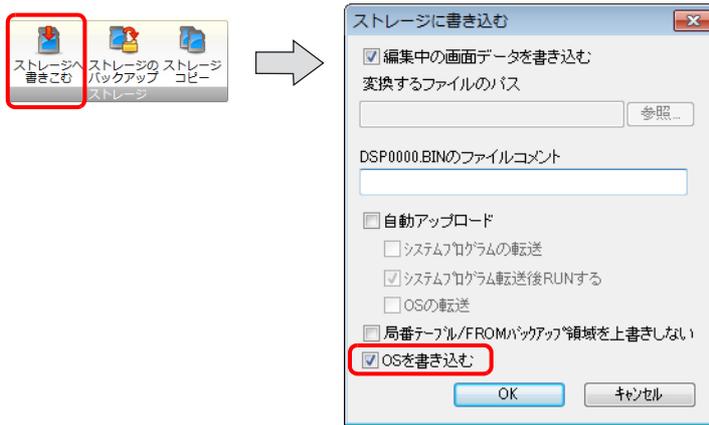
1. V-SFT を起動します。
2. [ファイル] → [ストレージマネージャー] をクリックします。ドライブを指定するダイアログが表示されます。
3. ストレージを挿入しているドライブを指定して [OK] をクリックします。ストレージマネージャ^{*1} が起動します。



*1 ストレージマネージャーとは？

ストレージにV9の画面データを書き込んだり、ストレージ内のデータを取り込んで各ファイル形式に変換するためのアプリケーションです。詳しくは「[8.4 ストレージマネージャー](#)」P 8-30を参照してください。

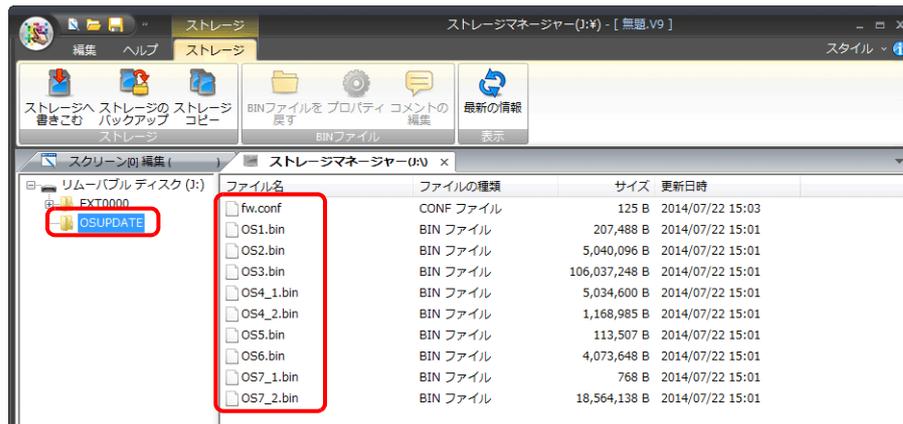
4. [ストレージ] → [ストレージへ書きこむ] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが表示されます。以下の項目を設定します。



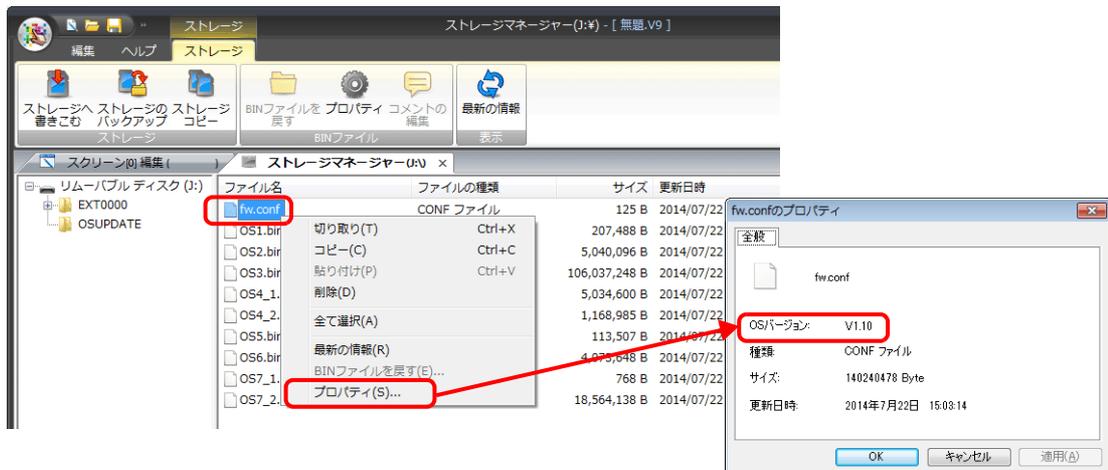
項目	内容
編集中のデータを書き込む *1	V-SFT で開いている (編集中) の画面データを書込みます。
変換するファイルのパス *1	[参照] から、ストレージへ書き込む画面データを選択します。 [画面データファイル (*.V9)]
OSを書き込む	手動アップデートする場合に選択します。

*1 OS データを書き込むためには、画面データが必要です。

5. 設定が終了したら [OK] をクリックします。[OSUPDATE] フォルダに以下のファイルが保存されます。



[fw.conf] ファイルを右クリック → [プロパティ] で、OSバージョンが確認できます。

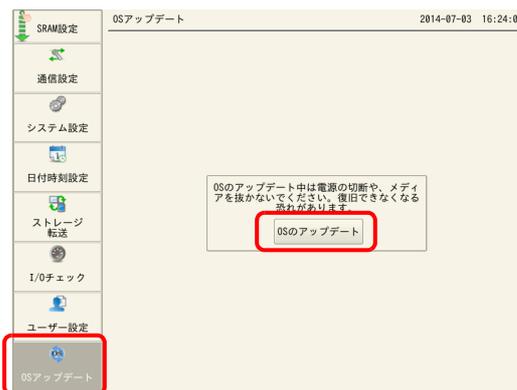


V9 本体の動作

ストレージにデータを格納したら、以下の手順で OS アップデートを行います。

1. V9 の電源を切ります。
2. ストレージを V9 本体に挿入します。
3. [SYSTEM] スイッチを押して [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。ローカル画面に切り替わります。
4. [システム情報] メニューで、現在の「プログラム Ver」、「OSVer」を確認します。
5. [OS アップデート] メニュー^{*1}で、[OS のアップデート] スイッチを押します。

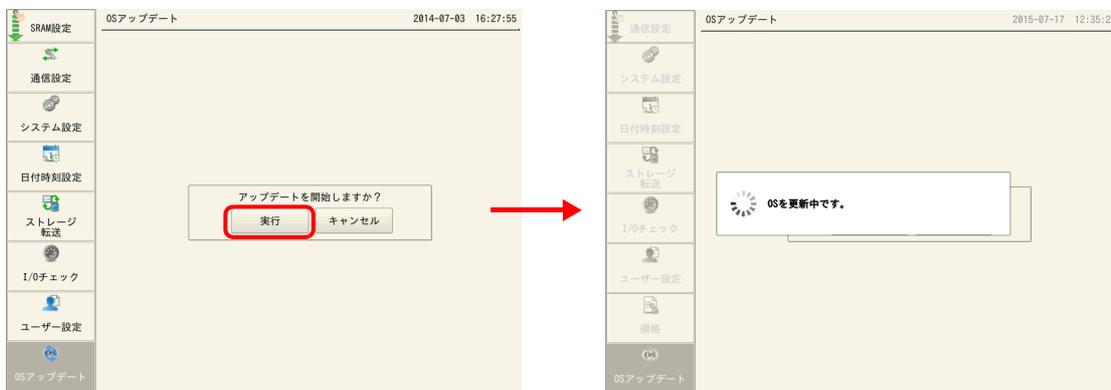
*1 [OS アップデート] メニューは、OSUPDATE フォルダが格納されたストレージを挿入している時のみ一番下に表示されます。



6. 以下の確認メッセージが表示されるので、[実行] スイッチを押します。OS のアップデートが開始されます。



OS アップデート中は、V9 シリーズの電源を切ったり、ストレージを抜かないでください。



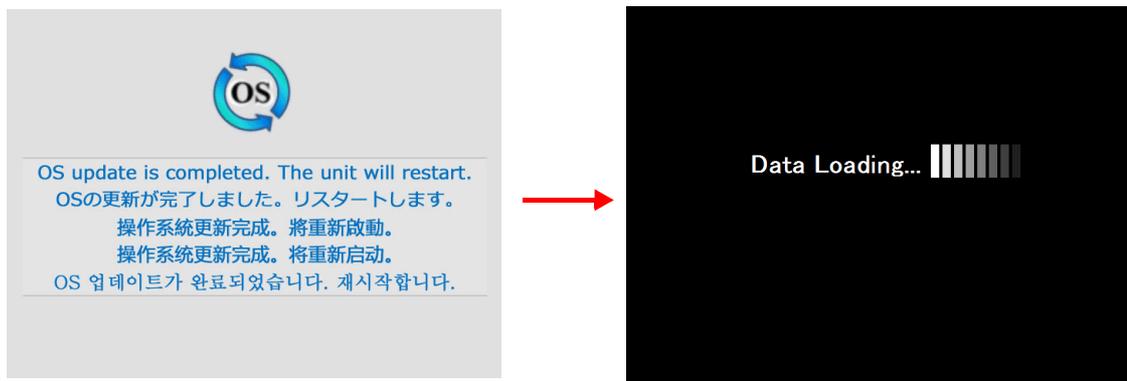
7. V9 シリーズが再起動し、画面が 5 秒程度真っ暗になります。



8. OS の更新中は、以下の画面が表示されます。



9. OS のアップデートが正常に完了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 シリーズが再起動します。



10. [SYSTEM] スイッチを押して [システムメニュー] から再度ローカル画面に切り替え、「プログラム Ver」、「OSVer」がアップしたことを確認します。

